

■コメント

1. つつが虫病

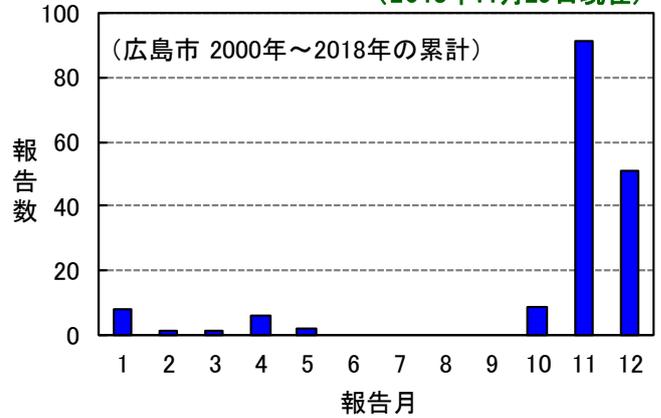
3件の報告があり、今年の累計は6件となりました。例年、この時期に報告数が多くなっています。山や草むらに入るとき、農作業を行うときは、長袖・長ズボン、帽子、手袋などを着用し、肌の露出を少なくしてダニ類の付着を防ぎ、屋外活動後は入浴してダニ類が付着していないかを確認しましょう。

2. インフルエンザ

定点医療機関から31人(定点当たり0.84人、迅速診断キット:すべてA型陽性)の報告がありました。また、学級閉鎖等も2件報告されています。健康管理に十分注意し、流行前のワクチン接種、手洗いや咳エチケットなどインフルエンザ対策を徹底しましょう。

つつが虫病の月別報告数

(2018年11月25日現在)



【参考】ダニ媒介感染症(厚生労働省)

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164495.html>

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)過去5年間	発生記号
フィリ	インフルエンザ	31	0.84	0.76	◇	小児科	流行性耳下腺炎	2	0.08	0.64	
	咽頭結膜熱	5	0.21	0.51			RSウイルス感染症	6	0.25	0.84	
小児科	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	74	3.08	2.90	◇	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.10	
	感染性胃腸炎	161	6.71	10.13	◇		流行性角結膜炎	5	0.63	0.85	
	水痘	14	0.58	0.74		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	9	0.38	0.62	▽		無菌性髄膜炎	-	-	0.06	
	伝染性紅斑	6	0.25	0.22			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.28	
	突発性発しん	6	0.25	0.42			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	4	0.17	0.13			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↖	↙	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	124	男性(20歳代)、女性(80歳代)
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	9	男性(60歳代)・O26・市外
4	つつが虫病	3	6	男性(60歳代)、男性(70歳代)、男性(80歳代)
5	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	15	男性(60歳代)
5	侵襲性肺炎球菌感染症	1	11	男性(10歳未満)
5	梅毒	2	102	女性(30歳代)、男性(40歳代)
5	百日咳	2	58	女性(10歳代)、女性(80歳代)

## ■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス)	感染性胃腸炎	
																				第43週
広島市	第43週	12	7	60	135	10	37	1	9	2	6	5	1	6	-	-	1	-	-	-
	第44週	10	7	48	114	8	33	2	9	2	7	11	-	7	-	-	2	-	-	-
	第45週	22	11	76	156	14	21	2	12	2	3	6	-	11	-	-	2	-	-	-
	第46週	25	8	84	178	10	24	2	8	6	3	6	-	4	-	-	1	-	-	-
	第47週	31	5	74	161	14	9	6	6	4	2	6	-	5	-	-	-	-	-	-
定点当たり	第43週	0.32	0.29	2.50	5.63	0.42	1.54	0.04	0.38	0.08	0.25	0.21	0.13	0.75	-	-	0.14	-	-	-
	第44週	0.27	0.29	2.00	4.75	0.33	1.38	0.08	0.38	0.08	0.29	0.46	-	0.88	-	-	0.29	-	-	-
	第45週	0.59	0.46	3.17	6.50	0.58	0.88	0.08	0.50	0.08	0.13	0.25	-	1.38	-	-	0.29	-	-	-
	第46週	0.68	0.33	3.50	7.42	0.42	1.00	0.08	0.33	0.25	0.13	0.25	-	0.50	-	-	0.14	-	-	-
	第47週	0.84	0.21	3.08	6.71	0.58	0.38	0.25	0.25	0.17	0.08	0.25	-	0.63	-	-	-	-	-	-
全国	第45週	0.35	0.45	2.43	5.44	0.38	0.76	0.64	0.46	0.21	0.13	0.60	0.01	0.87	0.02	0.04	0.35	-	0.02	-
	第46週	0.38	0.52	2.43	5.91	0.46	0.79	0.61	0.45	0.19	0.11	0.56	-	0.79	0.02	0.04	0.35	0.01	0.02	-

\* 百日咳は、2018年1月1日から5類感染症(全数把握疾患)に変更になりました。

## ■新たに判明した病原体検出状況

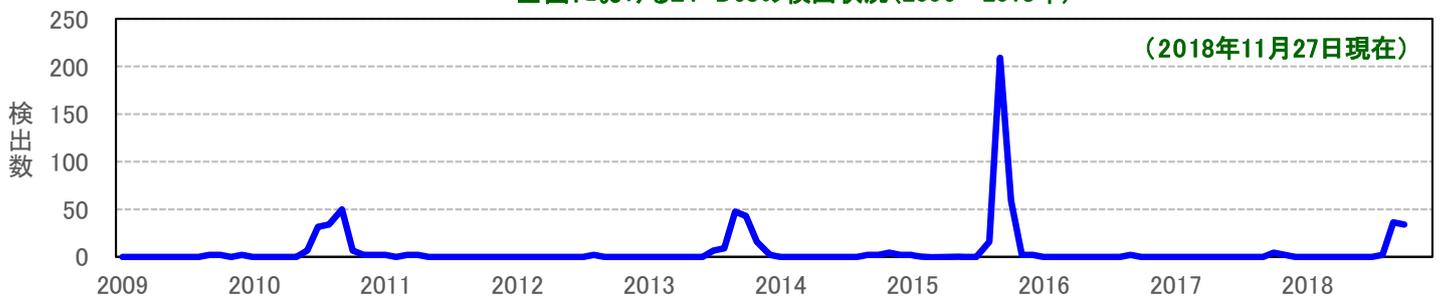
(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	発熱(38.5) 頭痛	5	女	2018/10/16	咽頭拭い液	A群溶血性レンサ球菌T14/49
その他の呼吸器疾患	発熱 肺炎 重篤な喘息発作	1	男	2018/10/14	咽頭拭い液	ライノウイルス
その他の呼吸器疾患	咽頭炎	38	女	2018/10/16	咽頭拭い液	エンテロウイルス68型
その他の神経系疾患	発熱(40.0) 脳炎	12	男	2018/10/16	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型

\* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

## 【参考】全国におけるエンテロウイルスD68(EV-D68)の検出状況について

全国におけるEV-D68の検出状況(2009~2018年)



EV-D68に感染し発症した場合、発熱や鼻汁、咳などの軽度なものから喘息様発作、呼吸困難等の重度の症状を伴う肺炎を含む様々な呼吸器症状が出現します。また、急性弛緩性麻痺を発症した患者の上気道からEV-D68が検出された事例が国内でも報告されており、急性弛緩性麻痺患者の一部におけるEV-D68感染との関連が疑われています。

EV-D68は、2010年、2013年、2015年と数年おきに夏から秋にかけて検出数が増加しており、今後の動向に注意が必要です。手洗いの励行、咳エチケットなどの感染予防対策を徹底しましょう。

### 【参考】

・エンテロウイルスD68(EV-D68)感染症について(国立感染症研究所) <https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/a/ev-d68.html>

・病原微生物検出情報(IASR)(国立感染症研究所)

<http://www.niid.go.jp/niid/ja/iasr/510-surveillance/iasr/graphs/4563-iasrgtopics.html>

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/typhi-m/iasr-reference/230-iasr-data/5492-iasr-table-v-p.html>

★ 12月8日に、世界エイズデー「レッドリボンキャンペーン in 広島 2018」を開催します ★  
<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/1123576563958/index.html>

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

### 【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650

TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666

広島市西区商工センター四丁目1番2号

E-Mail [ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp](mailto:ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp)

2018年第47週(11月19日~11月25日)